

## 保護者参観日 & 中国伝統文化鑑賞会



お父さんお母さんの前でハッスル 5年生



初めてのミシンにドキドキです



泳力検定の後は、お楽しみの時間も 室内プール



中学3年生は職場体験のまとめ発表を披露しました



高くなっていく椅子にみんなの歓声も高まります



大人が入った重い壺 見ている人の方がハラハラ！

広州日本人学校では年3回授業参観を行っています。子どもたちが学校でどのように学んでいるのかを保護者のみなさんに参観いただける貴重な時間です。9月24日(土)の保護者参観日 & 中国伝統文化鑑賞会も普段忙しくしているお父さんやお母さん、それぞれ都合を付けられて多数来校しました。

公開授業の一部をご紹介します。5年1組は国語で「大造じいさんとガン」を題材にした学習です。今回は子どもらが、主人公の心情を読み取るという課題を主体的に追求するため、グループによる「学びの伝え合い」を取り入れた授業。子どもたちは自分の考えを友達にわかりやすく伝え、また互いに共感する姿勢で聞き合いました。5年2組は家庭科室で、ミシンの使い方の授業が行われました。「返し縫い」「空縫い」などに悪戦苦闘しながら挑戦し、楽しく学習しました。この後はエプロンの教材をミシンを使って仕上げます。ほかには、6年生はこの日が今年最後となる水泳授業を公開。泳力検定の様子をプールサイドから応援する親御さんの姿も見られました。また中学3年生は7月の職場体験を元にまとめたことをプレゼンしました。公開授業の他、学年・学級懇談会も開かれ、担当教員から4月から半年を経た子どもたちの成長の様子や指導方針について説明する時間ももっています。

授業参観の後には、恒例のPTA主催中国伝統文化鑑賞会が行われました。今年の内容は「雑技」で「椅子・柔術・ツボ技」の三部構成。子どもたちは間近で見ると興味津々、椅子を高く積み上げた上で倒立をする姿にしている子どもも身がすくむ思い。人が入ったツボを足に乗せると「すげえ!」「えー!!」と歓声を上げ、見事な演技に自然と拍手喝采になりました。短い時間でしたが中国文化の一端に触れ、充実した時間を過ごすことができました。10月末の学習発表会も終わって28年度も残り5ヶ月あまりですが、校外学習や現地校交流など楽しい行事がまだまだあります。これからも子どもたちには中国に住んでいるからこそ味わえる豊かな体験をさせながら学習させたいものと願っています。